

公益社団法人愛知県医師会 第3回(定例)理事会議事録

開催日時：平成28年4月28日(木) 午後2時30分～午後3時40分

開催場所：愛知県医師会館4階理事会議室

出席者

会長(代表理事)／柵木 充 明

副会長(代表理事)／山本 楯 伊藤 宣 夫 横井 隆

理事／市川 朝 洋 吉田 貴 伊藤 健 一 城 義 政 加藤 雅 通

大輪 芳 裕 西山 朗 榎尾 富 二 樋口 俊 寛 伊藤 富 士 子

瀨 瀨 雅 明 細川 秀 一 森 孝 生 城 卓 志 野田 正 治

監事／岩瀬 敬 紀 可世木 成 明 榊原 一 基

代議員会議長／水野 和 夫

代議員会副議長／川上 雅 正 杉田 洋 一

※市川理事離席のため、承認事項3、4については、24名(うち理事18名)にて審議した。

議事録作成者 加藤 結 花

議長は、定款第39条第2項により、柵木充明会長(代表理事)が務める。

本日の理事会は、出席者25名(うち理事19名)で全員の出席があり、定款第39条第6項の決議を行うに必要な過半数に達していることを確認した。

議事進行に先立ち、柵木会長より挨拶。

—承認事項—

1. 庶務関係事項について

①愛知県・愛知県献血推進協議会・日本赤十字社愛知県支部・愛知県赤十字血液センター主催の平成28年度愛知県「愛の血液助け合い運動」〔7/1(金)～7/31(日)〕の後援について

市川理事より説明され、承認された。

(2)愛知県麻薬中毒審査会委員候補者の推薦について

市川理事より説明され、愛知県精神病院協会より推薦頂いた2名の推薦が承認された。

(3) あいち医療ツーリズム研究会の構成員就任について

市川理事より説明され、本会の柵木会長の就任が承認された。

(4) 平成 28～29 年度藤田保健衛生大学医学部 4、5 学年臨床実習「地域医療」への協力について

市川理事より説明され、例年通り、名古屋市医師会、東名古屋医師会、刈谷医師会、医療法人協会に協力をお願いすることが承認された。

2. 委員会・部会、講演会等(本会主催分)の開催について

柵木会長より、以下の No. 1～2 の本会主催の委員会・部会、講演会等の開催について一括承認を求め、承認された。

No.	開催日	名称	開催場所	担当理事
1	7/3(日)	心電図精度管理調査解析検討会	9 階大講堂	吉田理事 瀬瀬理事
2	7/23(土)	愛知県医師会医療安全支援センター(苦情相談センター)事例検討会(第 1 回)	中区役所ホール	加藤理事 大輪理事

3. 平成 28 年度地域健康づくり指導事業の予算配分(案)について

吉田理事より説明され、各地区医師会及び分科会へ配分することが承認された。

—協議事項—

4. 入会金の徴収猶予申請について

西山理事より説明され、小牧市医師会より申請があった入会金徴収猶予申請は承認された

5. その他

・名古屋市医師会・愛知県医師会研修医並びに指導医ウェルカムパーティについて

伊藤(健)理事より、全役員へ 5 月 7 日(日)に中日パレスで開催するウェルカムパーティへの出席を依頼された。杉田議長より、昨年と比較すると、倍以上の 170 名程の参加が見込まれると発言され、柵木会長より、今回は名古屋市医師会・愛知県医師会との共催であることから、多くの参加者を募ることができたと説明され、役員への出席を促された。

—報告事項—

【日本医師会、各医師会、中部医師会連合等会議について】

1. 日医平成 28 年度都道府県医師会広報担当理事連絡協議会 [4/21(木)] について (日本医師会主催：日本医師会館)

吉田理事より、講演「スマホファーストな若者たち」では、世代ごと、メディアごとの利用パターンの違いを浮き彫りにし、それぞれの特徴を踏まえた対応の必要性が述べられたと報告された。続いて、日医の広報活動の現状の報告並びに、広報委員会からの提言について説明があり、一般市民を対象に日医に対する意識調査を実施したところ、団体名の認知度はかなり高いが、活動内容等についての認知度は低く、今後の広報活動は日医の活動について周知していくことに重点を置いていく必要があると説明された。

2. 日医第 9 回男女共同参画委員会 [4/22(金)] について (日本医師会主催：日本医師会館)

伊藤(富)理事より、議題(1)の本委員会への会長諮問「輝く女性医師の活躍を実現するための医師会の役割」に対し、委員長が当日、横倉会長に答申したと報告された。議題(2)は、保坂委員から説明されたこと、議題(3)は、第 12 回フォーラムの次第及び宣言について、来年で 13 回目となり、既に出尽くした感があり難しい問題であることが説明された。議題(4)のフリートーキングでは、①訪問型病児保育②医師会員費無料化で勧誘した研修医の 3 年目以降の会費について情報交換が行われたと報告された。

3. 日医公衆衛生委員会 [4/21(木)] について (日本医師会主催：日本医師会館)

額額理事より、会長諮問である「医師会の目指す健康拠点～保健所の役割と地域医師会の連携」への最終答申案をまとめたと報告された。

また、国立がん研究センター検診研究部長の斎藤先生より、集団検診と比較し、個別検診の精検率が低い結果となっており、精度の向上を図るためがん検診チェックリストを改定する必要がある、新たに「検診機関用チェックリスト」及び「市区町村用チェックリスト」を追加した旨説明があったと報告された。

【本会関係会議について】

4. 広報委員会 [4/13(水)] について (501 会議室)

吉田理事より、愛知医報の反省、5/1 号以降のトップ掲載予定や表紙掲載写真、校正分担等について検討したと報告された。「会員の欄」への投稿原稿の掲載可否については、著作権の絡む写真があり、本人の了解のもと写真の削除を含め書

き直していただくこととなったと説明され、次回委員会への継続議題としたと報告された。

5. 治験審査会〔4/20(水)〕について

(804会議室)

加藤理事より、初回審査3件(潰瘍性大腸炎・統合失調症・大うつ病(施設追加))、継続審査4件(統合失調症2件、アルコール依存症・大うつ病 各1件)については、すべて承認されたと報告された。初回審査3件については、第1回定例理事会(4/7)で承認済みの減額された金額で受けたと説明された。

6. 調査室委員会〔4/19(火)〕について

(5階医師連盟会議室)

大輪理事より、調査室だよりについて検討し、医報に掲載すると説明された。また、日程の都合上、決議文は委員会外にて(メーリングリスト)議論し、決定することとなったと報告された。また、Twitter・MEDIFAX記事について解説、意見交換を行ったと説明された。その他、財務省の高額療養費の見直しについて説明された。柵木会長より、どのように見直すのか質問され、大輪理事より、医療費の問題が厳しくなっており、現在窓口での支払額が1割負担の者は自己負担限度額が12,000円である。今後収入や資産により、負担額を増額する可能性もあり、低所得者や資産のない者についても同様であるが、差し当たっては流動資産が対象となると説明された。

7. 愛知県広域予防接種事業運営委員会〔4/18(月)〕について

(5階医師連盟会議室)

瀬瀬理事より、平成28年10月よりA類疾病定期予防接種に追加される「B型肝炎ワクチン」の本事業の追加について協議し、承認を頂いたと報告された。また、ワクチン追加にあたり、接種スケジュールがタイトになる被接種者もいるため、接種期間を1ヶ月程度延長する等の猶予期間を設けるよう要望をすることとなったと報告された。

8. 地域医療介護委員会〔4/19(火)〕について

(6階研修室)

野田理事より、昨年度の事業実施結果を踏まえ、今年度の活動計画について協議されたと報告された。また、今年度のシンポジウムのテーマ等については、次の会議にて検討することとなったと説明された。

柵木会長より、サポートセンター事業が地域支援事業に移行するという認識はどうかと質問され、野田理事より、次回の実務者協議会で詳細を説明すると発言された。樋口より、認識については自治体によりかなり温度差があると発言され、野田理事より、自治体が社会福祉協議会に丸投げしているが、社会福祉協議会は

できていない状況にも関わらず、自治体はやっているという認識である。また、医師会と自治体との連携ができていない市町もあると説明された。

9. 講演会・研修会等について

柵木会長より、下記の No. 1～2 の本会主催の講習会・研修会等は一括報告とすると発言された。

No.	開催日	名称	出席者数等	担当理事
1	4/12(火)	健康教育講座	347名	吉田理事 瀬瀬理事
2	4/19(火)	産業医研修会	116名	西山理事 市川理事

【行政、その他関係団体等会議について】

1 0. 東海北陸地方社会保険医療協議会愛知部会〔4/25(月)〕について

(東海北陸厚生局主催：中産連ビル新館)

伊藤副会長より、問題となったのは、歯科の在宅専門診療所の保険医療機関の申請であったと報告された。

1 1. 学校給食における食物アレルギー対応に関する検討委員会〔4/25(月)〕について

(愛知県教育委員会主催：東大手庁舎)

吉田理事より、昨年2月に発行された「学校における食物アレルギー対応の手引き」について、配布状況、現在の問題点など特に各市町村で発刊している手引きなどとの整合性について議論したと報告された。また、今年度作成予定の「保護者向けリーフレット」の作成については、予算の減額に伴いWebで周知する方針となり、印刷物の作成は見合わせる事となったと説明され、作成委員会の設置についても検討したと報告された。

1 2. 平成28年度愛知県訪問看護ステーション協議会総会〔4/23(土)〕について

(愛知県訪問看護ステーション協議会主催：中区役所講堂)

大輪理事より、決算、事業報告、予算案について報告が行われ、全て了承されたと説明された。また、再来年度より社団法人化する意向であるが、具体的には話し合われておらず、実現できるか不安であると説明された。柵木会長より、社団法人化するメリットについて質問され、大輪理事より、対外的な信用度が増すこと以外、具体的には示されなかったと説明された。また、総会終了後、あすか山訪問看護ステーション統括所長 平原優美氏より、「地域包括ケアシステムにおける訪問看護師の役割」について講演をいただいたと報告された。

1 3. 平成 28 年度愛知県看護功労者表彰について

大輪理事より、推薦 7 名中 2 名が表彰されることとなったと報告された。

※柵木会長より、報告事項【その他事項について】の前に、理事会終了後、熊本地震における日本医師会災害医療チーム(JMAT)の出発式を行うと発言された。

【その他事項について】

1 4. 平成 28 年(2016 年)熊本地震における日本医師会災害医療チーム(JMAT)派遣について

城(義)理事より、日医よりの要請により準備しており、4 月 20 日からエントリーしていたが、4 月 30 日から 5 月 14 日までの派遣要請があった。昨日までの派遣場所は当初の宇土市内から熊本市内へ、宿泊施設は 3 班から 5 班については、八代市から熊本市へ、移動手段についても名古屋から鹿児島空港であったが熊本空港に変更するなど二転三転した。現地での活動としては、避難所の中の救護所となると説明された。柵木会長より、マスコミの報道、物資の状況等未だ情報が錯綜しており現地入りして初めて明らかになることと思われる。愛知県の JMAT としては、救急医療情報センターと緊密な連絡を取り、的確な対応をし、被災者の健康管理に尽力していただきたいと依頼された。

また、義援金については、東日本大震災の折りは 1 人 1 万円であったが、今回は 5,000 円とさせていただくと発言され、県下各医師会の義援金は愛知県医師会で取りまとめ日医へお渡し、日医から JMAT の費用、薬剤の費用等が支払われることになることと説明された。

1 5. その他

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成28年4月28日